

株式会社日本総合研究所 シンポジウム  
米中対立にどう向き合うか～世界新秩序とわが国の対応～

## 問題提起(1)

# 米中対立の本質と新しい世界秩序

2019年11月26日

株式会社日本総合研究所  
呉 軍華

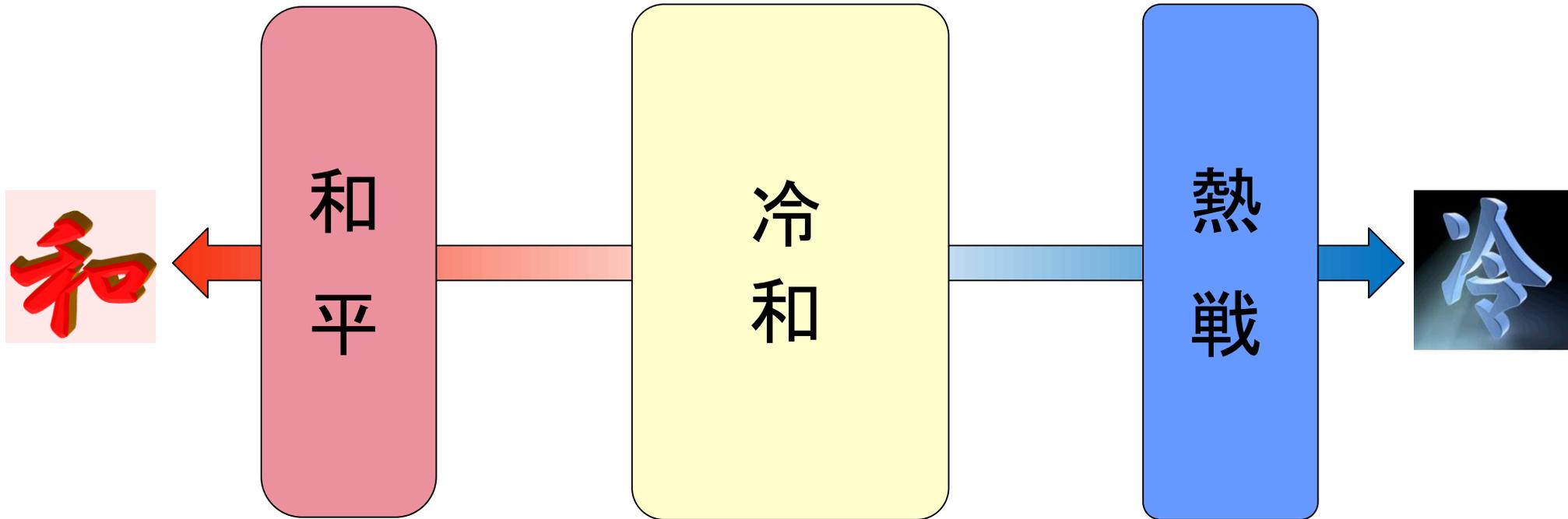
# 抛磚引玉

**問題提起 1 : 経済のみのグローバル化は持続可能か**

**問題提起 2 : 成長のエンジンと市場としての中国経済の拡大は持続可能か**

**問題提起 3 : 日本にとって、米中対立は他人同士の対立か**

# 米中関係の現段階



- ⇒
- 現在の米中関係は「冷戦」ではなく「冷和」
  - 「和平」と「熱戦／戦争」がシナリオになっても、「冷戦」のシナリオは予想しがたい

# 展望

## 3つのシナリオ

- ① 共存のシナリオ  
二極構造の形成による「冷和」の継続
- ② 平和のシナリオ  
価値観が自由、民主、法の支配に収斂
- ③ 対決のシナリオ



- ディカップリングはもはやワーストシナリオではない
- ③の回避は当事者意識を持つての日欧の行動が不可欠

# 闘而不破

# 米中関係の変遷



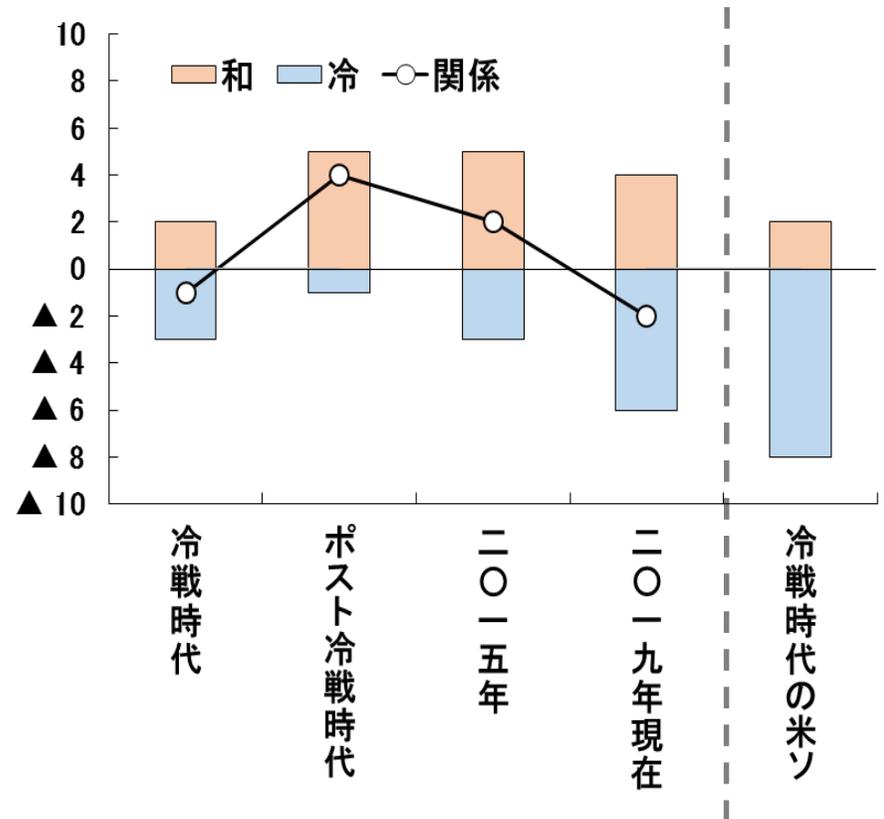
- 共通の価値観
- 核の相互確証破壊
- 経済的リンケージ
- 共通の敵を有する



- 覇権争い
- 相手敵視の同盟形成
- 経済理念の対立
- 軍事的対峙

和  
↑  
↓  
冷

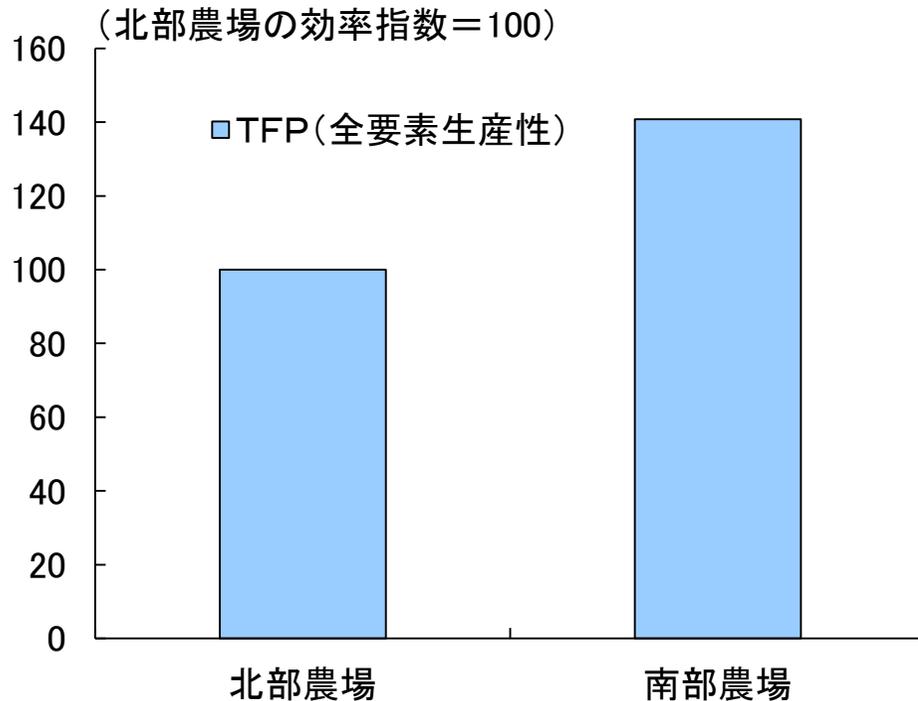
## 米中冷和度合いの変化



⇒経済的リンケージと同盟形成が米中関係の行方を大きく規定

# 米中对立は経済グローバル化の必然的結果

## 奴隷農業の経済効率性（1860年）



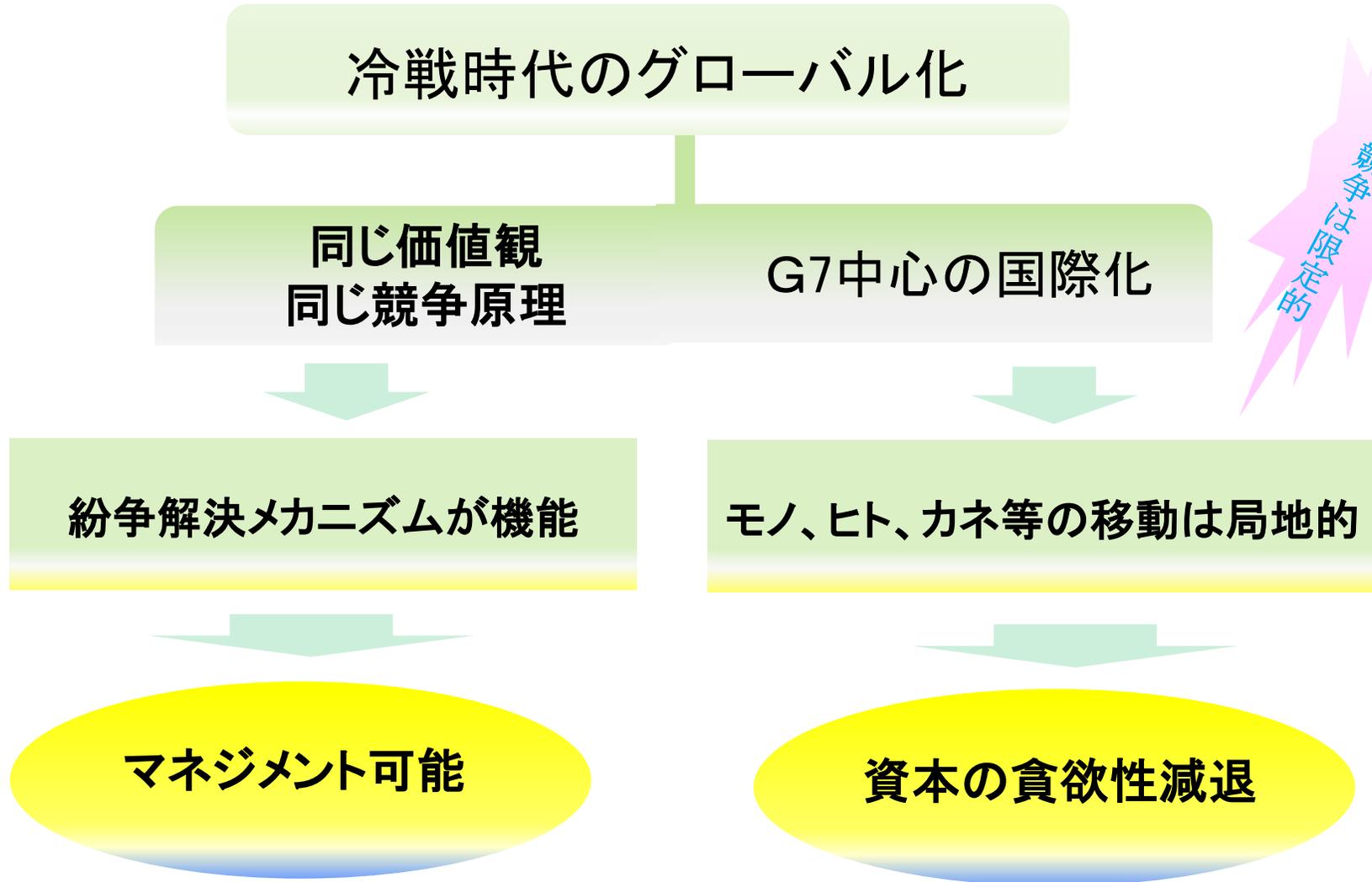
（資料）フォーゲル・エンガマン（1981）『苦難の時』

**民主的体制**  
労働者権益や環境等により配慮  
投資の誘致競争が限定的

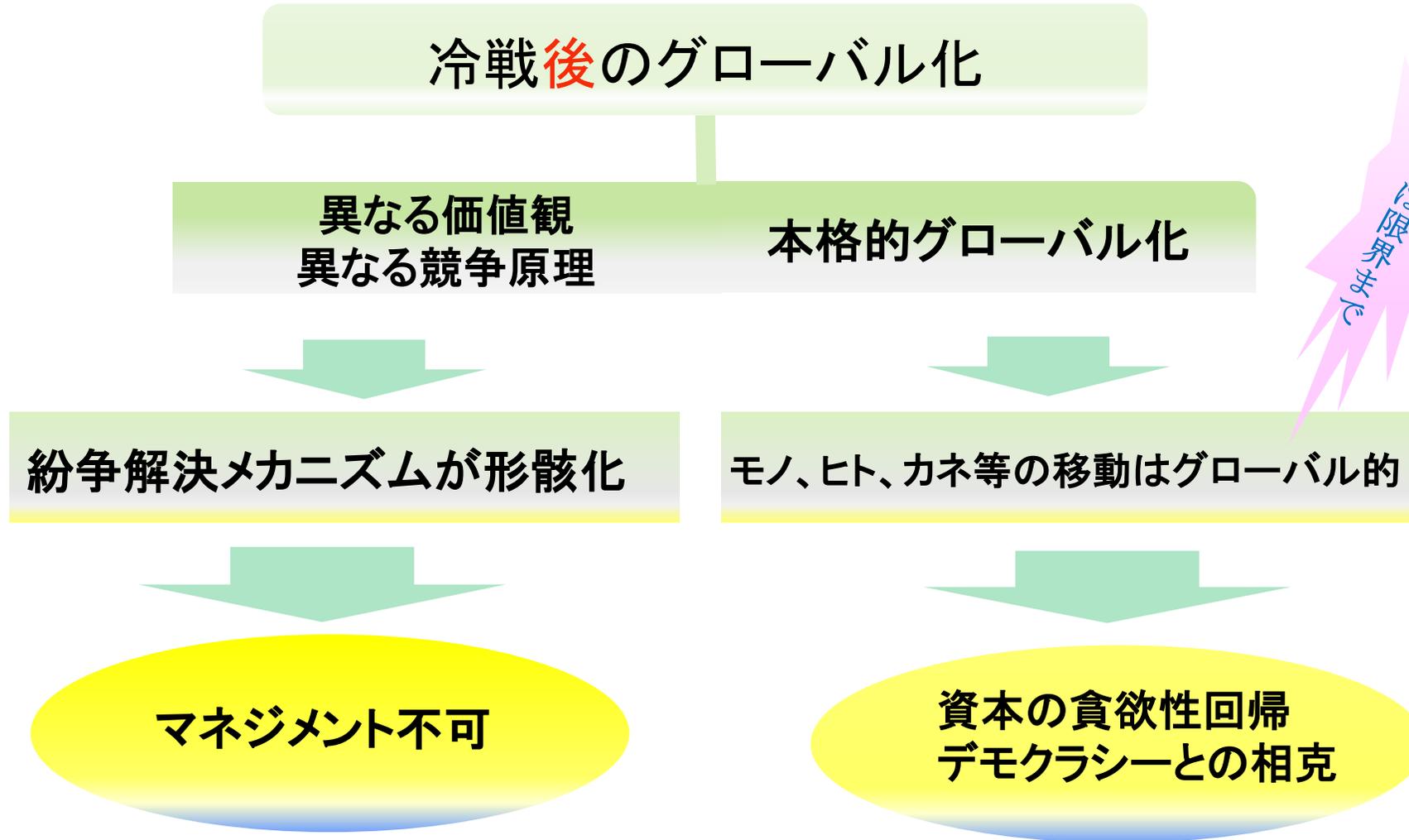
**非民主的体制**  
労働者権益や環境等無視可能  
投資の誘致合戦が限界まで

⇒比較優位の競争を制するのは非民主的体制

# グローバル化の変容

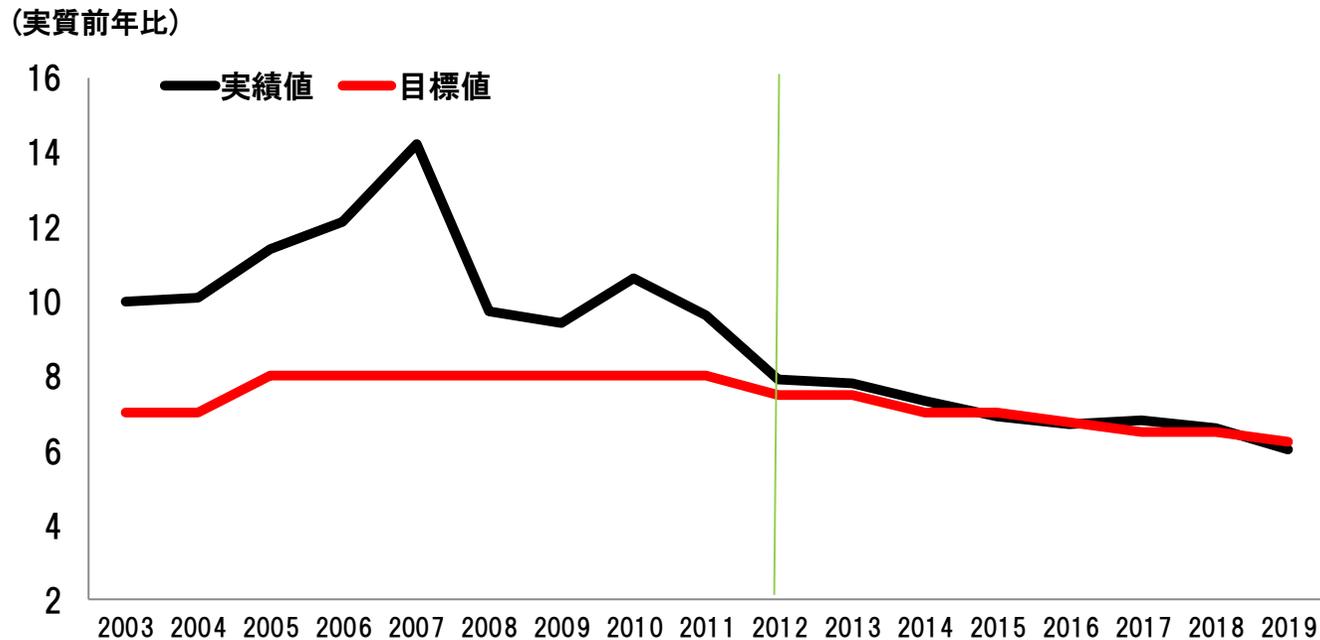


# グローバル化の変容



# 中国経済の将来性

## GDP伸び率の推移



出所：目標値は暦年政府工作報告。実績値は中国国家统计局  
 注：2019年の目標値は政府目標の中間値であり、実績値は日本総研予測値

**⇒成長エンジンと市場としての中国経済への過度の期待は禁物**

# 「中国の特色ある社会主義」の含意

国家資本主義

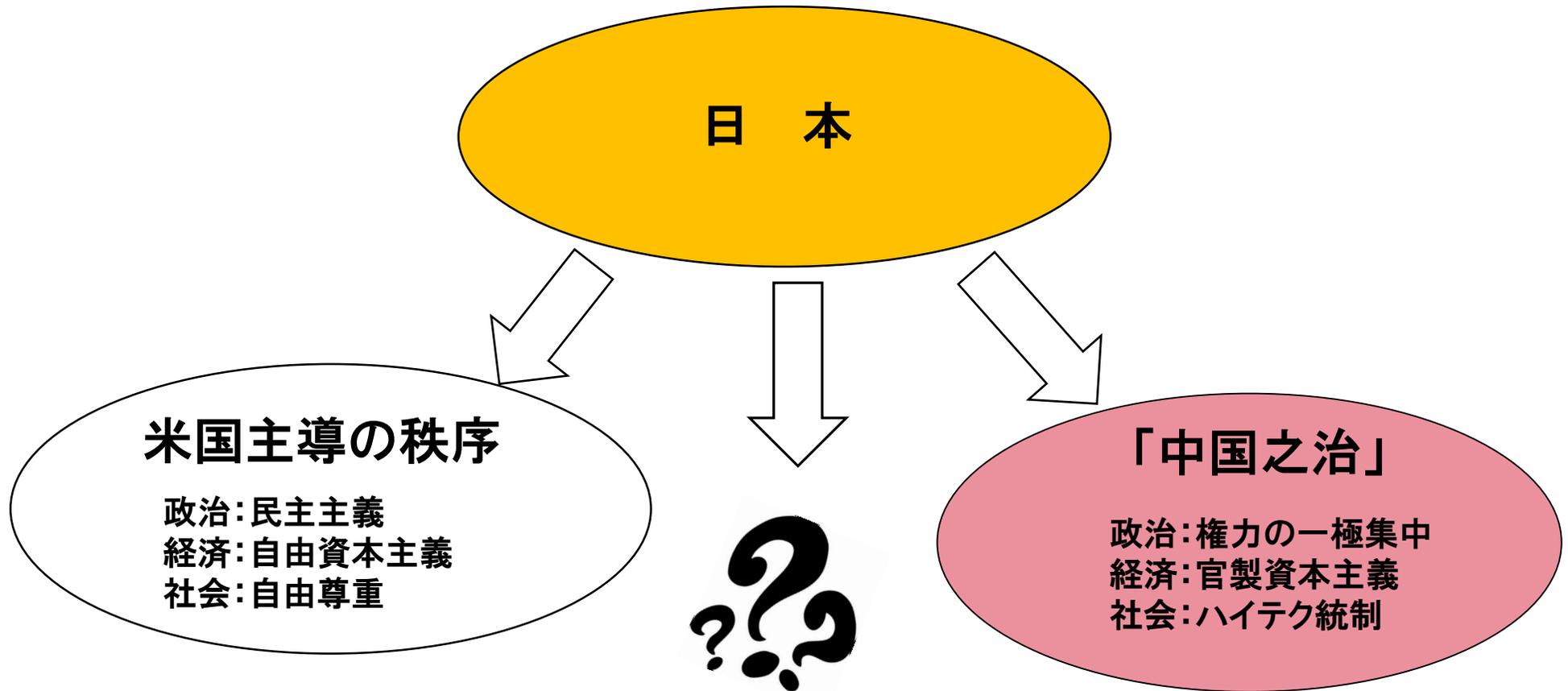
重商主義的レーニン主義

新重商主義的毛沢東主義



⇒米中対立は異なる価値観がぶつかり合う「文明の対立」

# 価値観・秩序の競争に第三の極が立ちうるか



- 米中対立は価値観・秩序を巡っての対立
- ⇒ ● 郷愁が漂っても、古き良きポスト冷戦時代には戻れない
- 価値観無視の利益追求の道義性と持続性が問われる時

ご清聴ありがとうございました。